Press Release

2026 年 9 月 25 日

報道関係者各位

株式会社オプティム
（東証プライム市場、コード：3694）

病院内スマホと AI で医師・看護師の業務を効率化、「OPTiM AI ホスピタルフォン」を 2027 年 1 月提供開始

～ 院内チャット、ワークフロー、セキュアな撮影・録音から、報告書作成までを AI で業務効率化支援。スマートフォン 1 台に集約 ～

株式会社オプティム（以下 オプティム）は、病院向けスマホサービス「OPTiM AI ホスピタルフォン」を、2027 年 1 月に提供開始します。

PHS からの切り替えや国の補助事業を背景に、病院内でのスマートフォンの導入が進んでいます。一方で、導入したスマートフォンが通話中心の PHS の置き換えにとどまり、業務に十分に生かされていない例も見られます。

「OPTiM AI ホスピタルフォン」は、院内のスマートフォンを、医療従事者の連絡・依頼・記録のための業務端末にします。まず、院内チャットにより、電話をかけるタイミングを気にするといったコミュニケーションのストレスをなくします。さらに、チャットにワークフローを組み合わせることで、薬剤の追加オーダーなどの依頼から承認までを、電話や対面に頼らずスマートフォン上で完結できます。そのうえで、セキュアに撮影・録音した情報を AI が解析し、報告書や電子カルテへ転記できる記録文面のドラフトまでを作成します。

オプティムは、国内市場シェア No.1※1 の MDM※2・PC 管理サービス「OPTiM Biz」を通じて、全国の医療機関 370 施設・約 50,000 台の端末管理を支援しています。「OPTiM AI ホスピタルフォン」は、この端末管理基盤の上で動作するため、既に「OPTiM Biz」をご利用いただいている施設では、端末の配布・機能制御・紛失時の対応といった運用を変更することなく導入いただけます。

なお、「OPTiM AI ホスピタルフォン」は特許出願中です。



UI はイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

■背景

院内の連絡手段として広く利用されてきた PHS は、対応端末の生産や保守サポートの終了が今後見込まれており、病院内の連絡手段をスマートフォンへ切り替える動きが進んでいます。

国も ICT・AI の活用による業務効率化を後押ししており、厚生労働省「医療分野における業務効率化・職場環境改善支援事業」では、ICT 機器などの導入により業務効率化に取り組む病院に対し、1 病院あたり最大 8,000 万円（補助率 4/5）の補助が行われています。生成 AI を活用した文書作成支援なども対象経費とされています※3。

しかし、スマートフォンを導入しても、通話の置き換えだけでは、依頼内容の記録・共有といった現場が求める情報連携や、記録・書類作成の負担軽減にはつながりません。2024 年 4 月に医師の時間外労働の上限規制が適用され、文書業務のタスク・シフト／シェアや効率化が急務となるなか、院内のスマートフォンをいかに業務に活用するかが問われています。

オプティムは、院内のスマートフォンを連絡・依頼・記録の業務端末として使えるようにすることで、連絡手段の刷新と記録業務の削減を同時に実現します。

■「OPTiM AI ホスピタルフォン」の特長

◆ ポイント 1 コミュニケーションのストレスをなくす ― 院内チャット



診療科・病棟などのグループ宛や個人へのメンションで、相手の状況を気にせず連絡できます。「今電話をしてよいタイミングか分からない」「付箋を置いたが見てもらえたか確認できない」といった迷いがなくなります。チャットでは、既読管理や未読通知、グループごとの通知のオン／オフ設定、スタンプ、画像・音声ファイルの送信、音声入力など、豊富な機能を利用できます。

さらに、チャットの送信前に AI が報告内容をレビューします。SBAR※4（状況・背景・評価・提言）などの観点に照らして内容を確認し、抜け漏れがあれば AI が聞き返して補完を促します。報告を受ける側が確認し直す往復が減り、経験の浅い職員でも、必要な情報が揃った報告を作成できます。

◆ **ポイント 2　依頼から承認までをスマホで完結 ― ワークフロー**



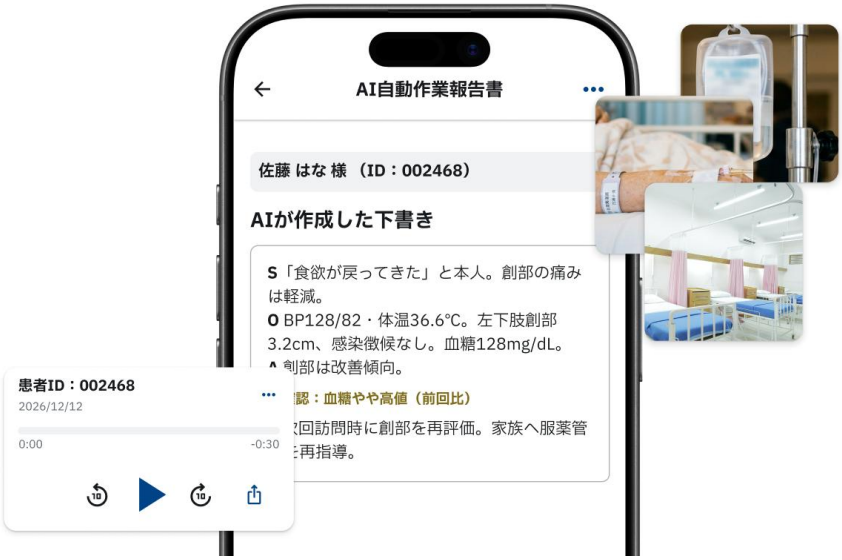
チャットでのやりとりに加えて、薬剤の追加オーダーの承認などの依頼を、ワークフローとして送ることができます。依頼を受けた医師は、その場で承認・却下を返せます。
依頼には受領確認が付き、未応答の依頼は自動で再通知されます。誰がいつ受け、どこまで対応したかが一覧で確認でき、口頭指示に頼らない運用へ移行できます。依頼を受けた側には直近のやり取りを AI が要約して提示するため、経緯を読み返すことなくその場で判断できます。

◆ **ポイント 3　“撮る・話す”をセキュアに ― セキュアカメラとセキュアボイスレコーダー**



創部の状態、服薬の状況、機器の表示値などを、スマートフォンのセキュアカメラで撮影して報告できます。撮影時には患者 ID と場所が自動で付与され、画像はセキュアサーバーへ即時保存されます。撮影データはスマートフォンに残らないため、私物スマートフォンを利用していても撮影に伴う情報漏えいのリスクを低減します。
インフォームド・コンセント、カンファレンス、訪問先でのやりとりは、患者 ID に紐付けて暗号化保存できます。話した内容をそのまま文字化し、敬語や単位表記の統一、フィラーの除去を AI が自動で校正することで、そのまま記録として使えます。録音データは一定期間で自動削除されます。

◆ **ポイント 4 そして、すべてが記録になる ― AI が報告書と電子カルテ記載文面まで**



チャットでのやりとり、撮影した画像、録音した音声は、すべて AI の解析対象となります。
作成したい記録の種類（訪問看護記録、経過記録、紹介状返書、IC 要約など）を選ぶだけで、AI が患者基本情報を自動で読み込み、紐付く画像・音声をもとに記録文書のドラフトを作成します。電子カルテへそのまま転記できる文面まで仕上がるため、医療従事者が行うのは内容の確認と加筆だけです。
未入力の項目について AI が推測することはなく、「要確認」として明示的に通知します。テンプレートは施設ごとに自作(DIY)でき、幅広い書式に対応します。

■その他の機能

◆ **ID 管理・ゲストモード**
病棟の共用端末では、利用者の交代に合わせて入館 IC カードや QR を読み取るだけで利用を継続できます。メールアドレスを持たない職員にも個人単位の ID を払い出せるため、「誰が実施したか」を担保しながら運用できます。「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」要件の 2 要素認証に対応します。

◆ **AI チャットボット**
院内の Q&A、マニュアル、各種ガイドラインを登録するだけで利用できる AI チャットボットです。必要な情報を口語で検索でき、「探す・聞く」の手間を解消します。

◆ **OPTiM AI ホスピタル連携（オプション）**
病院向け生成 AI サービス「OPTiM AI ホスピタル」と連携することで、電子カルテや DWH（統合データベース）から、バイタルや検査値などを参照できます※5。医師が電子カルテ用 PC の前に戻ることなく、患者の状態を確認したうえで判断できる環境を実現します。

■セキュリティ

3 省 2 ガイドライン※6 に準拠した環境で提供します。通信および保存データはいずれも暗号化し、アプリの終了時・ログアウト時にはスマートフォン内のキャッシュを消去するクライアントファイルレス設計を採用しているため、スマートフォンを紛失した場合でも情報漏えいは発生しません。あわせて、MDM によるセキュリティポリシーの強制適用、端末制限、リモートワイプを一括して管理できます。患者情報を第三者の汎用 AI に渡すことなく、院内に閉じた環境で AI を利用できます。



■MDM との連携による強み

「OPTiM AI ホスピタルフォン」は、MDM・PC 管理サービス「OPTiM Biz」と連携できます。「OPTiM Biz」は全国の医療機関 370 施設・約 50,000 台で稼働している端末管理サービスです。「OPTiM Biz」とあわせて利用すると、アプリ単体の機能に頼らず、次のような運用で安全性を高められます。

◆ **シャドーIT を仕組みで防ぐ**
管理下の端末では、許可していないアプリのインストールを技術的に制限できます。コンシューマー向けメッセージアプリでの患者情報のやりとりを、運用ルールではなく仕組みで防げます。

◆ **許可した端末以外からは利用できない**
管理下にある端末のみが「OPTiM AI ホスピタルフォン」を利用できる構成とすることで、許可をしていない私物端末や退職者の端末からのアクセスを防ぎます。

◆ **数百台規模でも設定作業が不要**
1 台ずつのキッティングを行うことなく、アプリを一括配信できます。導入時の情報システム部門の負担を大幅に軽減します。

◆ **院内の端末をひとつの管理画面で管理**
「OPTiM AI ホスピタルフォン」を利用する端末も、院内の PC・タブレットも、同じ管理画面で一元管理できます。新たなベンダーを増やすことなく、資産管理と監査対応を一本化できます。

■サービス概要

サービス名	OPTiM AI ホスピタルフォン
提供開始時期	2027 年 1 月（予定）
提供形態	月額サブスクリプション
価格（予価、税抜き）	月額 1,500 円 ～ 1,980 円／ID
トライアル	最大 1 ヶ月の無償トライアル
サービスページ	https://www.optim.co.jp/optim-ai-hospital/phone

■今後の展望

オプティムは「OPTiM AI ホスピタルフォン」を通じて、医療従事者が記録業務ではなく患者と向き合う時間を確保できる病院現場の実現を目指します。今後は、AI による記録作成の対象書類の拡大、電子カルテとの連携範囲の拡大をはじめ、提供機能を順次拡充してまいります。

■「OPTiM AI ホスピタル」とは

「OPTiM AI ホスピタル」は、電子カルテシステムと連携し、電子カルテ画面からワンクリックで文書生成できる病院特化型 AI サービスです。AI が医師や看護師の文書作成や情報抽出を代行・補助することで、医療従事者の業務負担軽減と、患者と向き合う時間の創出を実現し、医療の質の向上と病院経営の効率化に貢献します。また、病院のセキュリティポリシーや運用方針に応じて、クラウド AI 型・オンプレ AI 型の 2 つの提供形態から選択可能です。
サービスページ：https://www.optim.co.jp/optim-ai-hospital/

※1 出典：デロイト トーマツ ミック経済研究所 2025 年 8 月発刊、「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2025 年度版」より。
※2 MDM（Mobile Device Management）：モバイル端末の設定・アプリ配布・セキュリティポリシーなどを一元的に管理する仕組み。
※3 出典：厚生労働省「医療分野における業務効率化・職場環境改善支援事業について」および「医療分野における業務効率化・職場環境改善支援事業実施要綱」（2026 年 2 月 13 日） https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_70522.html
※4 SBAR：状況（S）、背景（B）、評価（A）、提言（R）の各項目で構成される標準的な報告形式。情報の構造化を補助し、医療現場における円滑な連携の支援を目的としています。
※5 本連携は電子カルテの参照に対応するものです。ご利用にあたっては導入施設における DWH の保有が前提となります。対応する電子カルテ製品については個別にお問い合わせください。
※6 厚生労働省、経済産業省、総務省が策定した医療情報の安全管理に関する指針の総称。医療機関向けの「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」と、サービス事業者向けの「医療情報を取り扱う情報システム・サービスの提供事業者における安全管理ガイドライン」で構成されます。

Press Release

製品情報：　https://www.optim.co.jp/services
Facebook：　https://www.facebook.com/optimjpn
X　：　https://x.com/optim_jpn

【株式会社オプティムについて】

商号：	株式会社オプティム
上場市場：	東京証券取引所プライム市場
証券コード：	3694
URL：	https://www.optim.co.jp/
OPTiM TOKYO：（東京本社）	東京都港区海岸 1 丁目 2 番 20 号 汐留ビルディング 18 階
OPTiM SAGA：（佐賀本店）	佐賀県佐賀市本庄町 1 オプティム・ヘッドクォータービル
OPTiM KOBE：	兵庫県神戸市中央区小野柄通 7 丁目 1 番 1 号 日本生命三宮駅前ビル 11 階
代表者：	菅谷 俊二 菅谷 俊二
主要株主：	NTT 東日本株式会社 富士フイルムホールディングス株式会社
設立：	2000 年 6 月
資本金：	445 百万円
主要取引先：	株式会社 NTT ドコモ、NTT ドコモビジネス株式会社、NTT 西日本株式会社、NTT 東日本株式会社、株式会社大塚商会、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、KDDI 株式会社、株式会社小松製作所、ソフトバンク株式会社、パナソニックソリューションテクノロジー株式会社、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社、リコージャパン株式会社など（五十音順）
事業内容：	AX 事業 アグリテック事業

【Copyright・商標】
※ 記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。
※ 本プレスリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。商品・サービスの料金、サービス内容・仕様、お問い合わせ先などの情報は予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】
株式会社オプティム　広報担当
TEL: 050-1746-3938　FAX: 03-6435-8560
E-Mail : press@optim.co.jp
OPTiM AI ホスピタルフォンサービスページ : https://www.optim.co.jp/optim-ai-hospital/phone